

愛育班は行政（保健師）と連携協働して活動しています。愛育班活動は誰でもできます！一緒に活動しませんか。

秋田県、埼玉県、山梨県、兵庫県、岡山県、香川県、大分県には県支部があり、全国では119市町村で活動しています。（2024年8月末現在）

愛育班に参加してみたい、話を聴いてみたいと思われた方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

「自分の地域で愛育班活動や、子育てを応援する地域づくりを始めたい」という行政や団体の方、お問い合わせください。

社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 愛育推進部

〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8

TEL：03-3473-8315 Email：suishin@aiiku.or.jp



愛育班活動紹介HP ▶▶



地域の絆で住民の健康と子育てを支える愛育班

愛育班の基本は「声掛け・見守り・お互い様」です。子供から高齢者まで地域の人々の健康と幸せを願って活動しています。一人ひとり、色々な健康課題を抱えています。それらを個人のものに終わらせず地域社会の課題として認識し、共に手を携えて改善していこうとする活動です。



恩賜財団母子愛育会の成り立ち

昭和8年の皇太子殿下（当時）ご誕生を機に、昭和天皇陛下から伝達されたお沙汰書をもとに、日本の母と子の保健と福祉向上のため恩賜財団母子愛育会が設立されました。本会は創立以来、総裁に皇族を推戴するお許しをいただき、現在の総裁は秋篠宮皇嗣妃殿下です。（平成22年10月1日～）

愛育班のあゆみと活動

昭和

1940

1960

1980

平成

1990

2000

2010

令和

2020

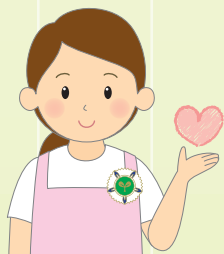
2030

こどもの命を守るべく、活動開始 — 愛育村（班）事業（昭和11年～）

昭和初期の高かった乳幼児死亡率や妊産婦死亡率を低下させるべく、「愛育調査会」を設置し全国の乳幼児、妊産婦の健康状態の把握、乳児死亡率や死因と生活条件などの関係性を調査しました。その結果、「村ぐるみで取り組む活動＝今日というコミュニティづくり」として考案されたのが愛育村事業で、昭和11年に5か所の「愛育村」を指定したのが愛育班活動の始まりです。愛育班員は、出産・育児に関する正しい知識・技術を普及させるために、妊産婦や乳幼児のいる家庭を訪問して普及啓発を行いました。



赤ちゃん訪問



赤ちゃんふれあい体験



保健師と協働した、住民参加型の 地域活動として発展

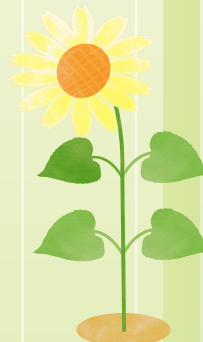
愛育班員は保健師と協働して地域の乳幼児、妊産婦や高齢者を訪ねて健康情報を伝えたり、健診のお手伝いなどの活動をしています。また、地域の健康課題を解決するために自分達ができることを考えて実践し、子育てサロンやがん検診の受診呼びかけなど多様な取り組みを行っています。



食育



交流イベント



誰もが安心して暮らせる地域をつくる 愛育班活動

急速な少子化、高齢化など健康課題は身体面に留まらず、精神的、社会的な課題へと多様化しています。

そして、地域に暮らす人々は、地域とのつながりが薄れ孤立化が加速しています。

子育て中の親子が地域社会から応援されていると実感でき、安心して子育てができる地域づくりが求められています。このような地域は高齢者の方にも安心な地域です。

「あの子も、この子も みんなの子」と子どもを地域の宝として大切にしてきた愛育活動に共感してくださる仲間の輪を広げていきましょう。

